

日本地域学会ニューズレター

令和 6 年 no.2

令和 6 年 8 月 26 日

目 次

I. 副会長挨拶	... 2
II. 日本地域学会第 61 回年次大会（令和 6 年 10 月 5 日（土）、6 日（日）） 開催について	... 3
III. 令和 6 年度日本地域学会総会（令和 6 年 10 月 5 日（土））出席のお願い	... 3
IV. 2025・2026 年 期 日本地域学会理事選挙 投票締切：令和 6 年 9 月 13 日（金）	... 4
V. 理事会報告 令和 5 年度第 7,8 回，令和 6 年度第 1-3 回	... 4
VI. 委員会報告	... 7
1. 学会賞選考委員会	
2. 機関誌編集委員会（第 79-80 回についての報告）	
第 61 回年次大会準備委員会からのお知らせ	... 10
第 61 回年次大会の会場（東北学院大学）案内	
交通アクセス	
東北学院大学土樋キャンパスマップ	
セッション・総会・シンポジウム会場配置図	... 11
『地域学研究』バックナンバー申込み	... 12

I. 副会長挨拶

日本地域学会

副会長 木南莉莉

日本地域学会 (JSRSAI) と歩む 30 年

私は中国上海市に生まれ、1986 年に私費留学生として来日し、三重大学で修士学位、東京大学で博士学位を取得した後、1994 年に筑波大学在職中に河野博忠先生から入会の誘いを受け、日本地域学会 (JSRSAI) の会員になって今年で 30 年になる。入会した次の年に息子が生まれたため、長い間に子供を連れて RSAI・PRSCO・ERSA・国内学会に参加し、会員の皆さんから暖かく受け入れてくれた。以下は日本地域学会 (JSRSAI) の活動を通じて成長を実感させてくれた事柄のいくつかを触れてみる。

まずは、RSAI 世界大会への参加と Council Member として関わったことである。1996 年の 5th World Congress of RSAI 日本大会への参加は私にとって初めての国際学会での論文発表であり、国内外の卓越な研究発表を聴くことができ、自身の研究方向は明確になった。また、上皇陛下と上皇后陛下の大会へのご臨席は強く印象に残った。その後の RSAI 世界大会や PRSCO 大会及び ERSa 大会などへの参加を通じて異なる世代の研究者との交流だけではなく、文化・制度・国境を超えた研究者ネットワークによる研究成果を生み出すことができた。また、RSAI の 2 期役員を務めたことを通じて異なる文化や学問背景を持つ研究者から沢山の学びを得た。

そして、氷鉋揚四郎先生のリーダーシップの下で日本地域学会設立 50 周年記念誌の編集と New Frontiers in Regional Science: Asian Perspectives 及び Asia-Pacific Journal of Regional Science (APJRS) への関わりである。記念誌を通じて草創期の日本地域学会の時代背景を知り、これまでの理論的・実証的な成果を回顧しつつ、地域学の今後の発展に思いを馳せることは日々の研究の励みになっている。また、シリーズ New Frontiers in Regional Science: Asian Perspectives 及び Asia-Pacific Journal of Regional Science (APJRS) への関わりを

通じて英語による研究成果の発信は日本地域学会の国際性と学際性がより一層鮮明になっている。

一方、第 53 回日本地域学会年次大会 (新潟大学での開催) の実行委員長として大会シンポジウムと現地視察ツアーの企画・運営に携わることを通じて産官学連携による地域振興の可能性を実感できた。大会は新潟大学と環日本海経済研究所 (ERINA) の連携によって運営され、篠田市長の基調講演や地域農業フロンティアランナーの豊富な事例紹介は大会の参加者 (国外の参加者を含む) にとって新潟を知る貴重な機会となった。また、学会の研究成果は地域に刺激を与えると同時に新たな課題を示すこともできた。この経験は現在進行中の私の研究・教育活動にも生かされている。

日本社会はバブル崩壊後に長い低迷期を辿って来ているが、日本地域学会は事務局の皆さんの献身的な働きと会員の皆さん (特に歴代の会長、編集委員長、編集委員) のご協力と活発な研究活動に支えられて力強い成長を成し遂げてきた。私は日本地域学会会員としてこの 30 年間を大変誇りに思い、成長させてくれたコミュニティに深く感謝したい。しかし、学会の将来を思うと一抹の不安も覚えている。世の中ではダイバーシティ&インクルージョンが求められているが、日本地域学会年度大会での発表者は殆どが互いに知っている。また、私も含めて理事会のメンバーはとても白い (肌の色ではなく、髪の色である)。さらに、子供を連れて学会に参加するケースは殆ど見かけなくなっている。無論、これらの問題はとてもセンシティブであり、だからこそ本学会はクロスジェネレーションの努力を通じて進化し続けることを願う。

Ⅱ. 日本地域学会第 61 回年次大会

令和 6 年 10 月 5 日(土)～6 日(日)

記

開催日：2024 年 10 月 5 日(土)～6 日(日)

会場：東北学院大学土樋キャンパス

大会プログラム：(2024 年 8 月に公開予定)

発表論文集：(2024 年 9 月下旬に公開予定)

(大会実行委員会)

委員長 篠崎 剛 (東北学院大学)

副委員長 高橋秀悦 (東北学院大学)

委員 アレイ・ウィルソン (東北学院大学)

委員 佐藤康仁 (東北学院大学)

委員 雲然祥子 (岩手県立大学宮古短期大学部)

委員 望月理生 (東北学院大学)

委員 柳原光芳 (名古屋大学)

(大会事務局)

〒980-0065 仙台市青葉区土樋 1-3-1

東北学院大学経済学部 篠崎剛研究室

E-mail: 2024jsrsai.tohokugakuin@gmail.com

大会ウェブサイト：

<https://sites.google.com/g.tohokugakuin.ac.jp/jsrsai24/>

大会へのご参加について

*上記の大会ウェブサイト内、「大会参加・総会出欠登録」に掲載されております「大会参加登録フォーム」よりお申し込み下さい。参加登録期間は、**2024 年 8 月 31 日(土)** までです。まだご登録がお済みでない方は早急にお申し込み下さい。座長、発表者、討論者を含め全ての参加者に申し込みが必要です。

*発表申込は終了しました。

参加費

- ・一般会員 5,000 円
- ・学生会員 3,000 円
- ・非会員 10,000 円

・シンポジウムのみ 無料 (※事前登録が必要)

公開シンポジウム

テーマ：「**私たちの水道の未来(持続可能な水道事業の在り方について)**」

主催：日本地域学会

共催：東北学院大学経済研究所

仙台国際観光協会

日時：2024 年 10 月 5 日(土) 15:00-18:00

場所：東北学院大学土樋キャンパス

ホーイ記念館地下 1 階 ホーイホール

Ⅲ. 令和 6 年度日本地域学会総会

日本地域学会会員各位

日本地域学会

会長 松本 昭夫

本年度総会を下記要領で開催致しますのでご出席ください。出席・欠席のご登録は、日本地域学会ウェブサイトトップページ「令和 6 年度 日本地域学会総会出欠確認」または大会ウェブサイト内「日本地域学会総会出欠確認ページ」よりお願い致します。なお、欠席される場合には同フォームより、委任状をご提出下さい。

記

日時：令和 6 年 10 月 5 日(土) 13:15-14:50

場所：東北学院大学土樋キャンパス

ホーイ記念館地下 1 階 ホーイホール

総会次第

- 1) 開会の辞
- 2) 会長挨拶
- 3) 議題

- (1) 新入会員・退会希望者の承認
- (2) 令和 5（2023）年度の事業報告の承認
- (3) 令和 5（2023）年度の収支決算の承認
- (4) 令和 7 年度の事業計画の承認
- (5) 令和 6 年度の収支予算(修正案)の承認
- (6) 令和 7 年度の収支予算の承認
- (7) 第 62 回(2025 年) 年次大会の開催地
開催校等の承認
- (8) 第 63 回(2026 年) 年次大会の開催地
開催校等の取扱いの承認
- (9) その他

4) 報告

- (1) 新入会員キャンペーンの継続
- (2) 『地域学研究(第 54 巻)』の編集
- (3) RSAI の動向
- (4) PRSCO の動向
- (5) 学会賞受賞者報告

以上

IV. 理事会 2025・2026 年期中日本地域学会理事選挙

日本地域学会 会員 各位

日本地域学会理事候補者選挙

日本地域学会

会長 松本 昭夫

標記について、従来通りの方法に従い、ここに同封の官製はがきを使用して郵便による 3 名連記、無記名投票を実施します。ただし令和 6 年度まで会費納入済みの会員が投票権を有します。投票締切は令和 6 年 9 月 13 日(金)当日消印有効です。

理事会ではこの選挙結果をもとに、投票数、分野、地域等を考慮して、2025・2026 年期中日本地域学会理事候補者名簿を作成し、令和 6 年 10 月 5 日(土)13:15 より東北学院大学にて行われる令和 6 年度総会に諮ります。

V. 理事会報告

令和 5 年度 日本地域学会 第 7 回 理事会

日 時: 令和 6 年 2 月 17 日(土) 13:00-15:00

場 所: オンライン(zoom)

出席者(敬称略): 朝日, 浅見, 石橋, 内田, 鐘ヶ江, 木南(莉), 國光, 齋藤, 櫻井, 佐々木, 渋谷, 多和田, 徳永, 氷鮑, 福井, 正岡, 松本, 水野谷, 藪田, 吉田, の各理事, (ただし, 高野, 大内田, 中山, 野崎(謙), 藤田, 三友の各理事より委任状付託; 以上理事 26 名出席); オブザーバーとして, 臼井, 三橋名誉理事, 廣野監事, 池川, 岩見, 小川, 野崎(乃), 古澤の各幹事, 内村事務局秘書

議題

1. 新入会員・退会希望者の承認

内田事務局次長より, 個人会員入会 2 名と退会 4 名の説明があり, これを諒承。この結果, 正会員 1, 055 名, 法人会員 5 団体となった。

2. 事務局委託について

内田事務局次長より, 事務局委託の検討理由と委託候補となっている業者からの見積もりについて説明があり, 更に詳細な検討を行うこととなった。また, 今後の機関誌の出版形態についても議論がなされた。

3. その他

氷鮑企画担当理事より, 経済学会連合による助成金補助についての周知依頼があった。詳細について今月中に会員に周知することとなった。

令和 5 年度 日本地域学会 第 8 回 理事会(持回り)

日 時: 令和 6 年 3 月 11 日-19 日(火)

議題

1. 入退会者の承認

個人会員入会 1 名と退会 12 名の入会が承認された。
この結果、正会員 1, 044 名、法人会員 5 団体となった。

2. RSAI “The Hirotada Kohno Award” 推薦について

RSAI “The Hirotada Kohno Award” の候補者推薦について、周知と依頼がされた。

令和 6 年度 日本地域学会 第 1 回 理事会

日 時: 令和 6 年 4 月 21 日(日) 12:30-15:55

場 所: 学術総合センター会議室 202・203 号室

及び オンライン (Zoom)

出席者(敬称略): 朝日, 浅見, 石橋, 内田, 鐘ヶ江, 木南(莉), 國光, 斎藤, 櫻井, 佐々木, 篠崎, 洪澤, 鈴木, 高野, 高橋, 多和田, 徳永, 中山, 野崎(謙), 氷鮑, 福井, 藤田, 正岡, 松本, 三友, 水野谷, 柳原の各理事, 大内田監事, 廣野監事(ただし, 池川, 梶井, 戸田, 原, 三井, 吉田の各理事より委任状付託; 以上理事 26 名出席); オブザーバーとして, 岩見, 小川, 野崎(乃), 黛の各幹事, 内村事務局秘書

議題

松本会長より, 挨拶があった。

1. 事務局委託の件

内田理事より, 業務委託先候補と見積もり内容の説明があった。委託先候補の代表から見積もり内容の説明があり, 質疑応答をおこなった。

委託先候補の退席後, 意見交換がなされた。

2. 新入会員・退会希望者の承認

内田理事より, 新入会員 5 名, 退会会員 20 名について説明があり, これを諒承。

この結果, 正会員 1,000 名, 法人会員 5 団体となった。

3. 2023 年度決算(案)の審議と承認

櫻井理事より, 令和 5 年度(2023 年度)会計報告について説明があり, これを諒承。

4. 2024 年度予算(修正案)の審議と承認(資料 4)

櫻井理事より, 令和 6 年度(2024 年度)予算修正案について説明があり, これを諒承。

氷鮑理事より APJRS 関係予算に関わる説明があり, これを諒承。

5. 2025 年度予算(案)の審議と承認

櫻井理事より, 令和 7 年度(2025 年度)予算案について説明があり, これを諒承。

6. 2023 年度事業報告(案)

内田理事より, 令和 5 年度(2023 年度)事業について報告(案)の説明があり, これを諒承。

7. 2025 年度事業計画(案)

内田理事より, 令和 7 年度(2025 年度)事業計画(案)について説明があり, これを諒承。

8. 第 60 回(2023 年)年次大会会計報告修正

柳原理事より, 第 60 回大会会計報告修正について説明があり, これを諒承。

9. 第 61 回(2024 年)年次大会の並行セッション及びシンポジウムの編成について

篠崎実行委員長より, 実施体制, 並行セッションとシンポジウムの準備状況および理事会の実施予定日について説明があり, これを諒承。

10. 第 62 回(2025 年)年次大会について

内田理事より, 第 62 回(2025 年)年次大会について関西地方での実施を検討中との説明があり, これを諒承。

11. APJRS 掲載論文の Open Access 印刷コスト (APC)の負担について

氷鮑理事より, 論文賞の表彰要件に関する規定について説明があり, これを諒承。

12. 『地域学研究』セット販売の推進

内田理事より, 『地域学研究』セット販売の推進について説明があり, これを諒承。

13. 新入会員勧誘キャンペーンの推進

内田理事より, 新入会員勧誘キャンペーンの推進について説明があり, これを諒承。

14. その他

特になし

報告事項

1. 機関誌編集委員会報告

2. 浅見委員長より, 『地域学研究』第 54 巻掲載候補論

文の採択状況について説明がなされた。また、第 54 巻の発行についての説明がなされた。

3. Asia-Pacific Journal of Regional Science (APJRS) について

氷鉋企画担当理事より、Asia-Pacific Journal of Regional Science の編集状況とオープンアクセス費用についての説明があった。

4. 第 1 回学会賞優秀発表賞選考委員会報告

徳永理事より学会賞審査に関する説明があった。

5. RSAI の動向

特になし

6. PRSCO の動向

鈴木理事より、2024 年度の韓国大会に関する説明があった。

7. その他

水野谷総務担当常任理事より、事務局移転について、および年次大会の準備体制についての説明があった。

令和 6 年度 日本地域学会 第 2 回 理事会(持回り

日 時: 令和 6 年 5 月 29 日-6 月 5 日(水)15 時

議題

1. 入退会者の承認

個人会員入会 9 名と退会 1 名を諒承。この結果、正会員 1,037 名、法人会員 5 団体となった。

2. 千葉商科大学主催 第 10 回全国高校生「環境スピーチコンテスト」後援名義使用の件

千葉商科大学主催の標記コンテストの後援名義使用を許可する件を諒承。

令和 6 年度 日本地域学会 第 3 回 理事会

日 時: 令和 6 年 7 月 7 日(土) 12:30-15:50

場 所: オンライン(zoom)

出席者:朝日, 浅見, 石橋, 内田, 大内田, 木南(莉), 國光, 櫻井, 佐々木, 篠崎, 渋澤, 鈴木, 高野, 多和田, 徳永, 中山, 野崎(謙), 氷鉋, 福井, 藤田, 松本, 水野谷, 柳原, 吉田, の各理事, (ただし, 鐘ヶ江, 戸田, 正岡, 三友, 薮田, の各理事より委任状付託; 以上理事 25 名出席);オブザーバーとして, 臼井名誉理事, 河野名誉理事, 高橋名誉理事, 藤岡名誉理事, 三

橋名誉理事, 梶井監事, 廣野監事, 小川, 崔, 古澤, 黛の各幹事, 内村事務局秘書

議題

1. 新入会員・退会希望者の承認

水野谷総務担当常任理事より、新入会員 9 名と退会会員 2 名の説明があり、これを諒承。この結果、正会員 1,036 名、法人会員 5 団体となった。

2. 第 61 回(2024 年)年次大会の並行セッション及びシンポジウムの編成

内田事務局次長より、プログラムについて説明があった。その後、理事、監事および幹事が担当する座長と討論者の割り当てを行った。

篠崎実行委員長より、HP の準備状況、セッション会場や理事会の会場などの詳細について説明があり、これを諒承。

3. 第 62 回(2025 年)年次大会準備の進捗状況

内田事務局次長より、関西大学の開催受け入れについての報告と説明があり、これを諒承。

4. ニューズレターオンライン化について

7.の事務局委託に係る説明と同じ。

5. 『地域学研究』セット販売の推進

水野谷総務担当常任理事より、『地域学研究』セット販売の推進について説明があり、これを諒承。

6. 新入会員勧誘キャンペーンの推進

内田理事より、新入会員勧誘キャンペーンの推進について説明があり、これを諒承。

7. 事務局委託の件

内田事務局次長より、事務局委託費用の見積もりと試算についての説明があった。氷鉋企画担当理事より、特命チームによる委託先最終候補の検討と絞り込みを行うことが提案され、これを諒承。特命チームの最終提案に基づき、理事会で委託先を決定することが提案され、これを諒承。

8. 自動退会規定について

氷鉋企画担当理事より、一定期間の会費未納による自動退会とその規定についての提案および説明があり、これを諒承。

9. その他

氷鮑企画担当理事より、「事務局委託に伴う改革案」についての提案と説明があり、これを諒承。

報告事項

1. 令和 5 年度決算監査結果報告

櫻井常任理事より、令和 5 年度決算結果について修正の報告があった。

2. 機関紙編集委員会報告

浅見委員長より掲載予定論文数について報告があった。掲載論文数に加え、書評を追加する旨の説明があった。

3. 第 2 回学会賞選考委員会報告

徳永委員長より、博士学位論文賞、功績賞について、推薦された候補者の審査結果について報告があった。

4. RSAI の動向

渋澤理事より、前回大会の報告と、次期役員候補および今後の大会候補地に関する報告があった。

5. PRSCO の動向

鈴木庶務担当常任理事より、PRSCO2024 韓国開催についての報告があった。また、次年度以降の開催地および開催候補地についての報告があった。

6. Asia-Pacific Journal of Regional Science (APJRS) について

氷鮑企画担当理事兼 APJRS Editor in Chief より、IF が 1.9 まで上昇した旨、CiteScore が 3.1 となった旨、Q2 ジャーナルとなった旨の報告があった。

7. その他

特になし

VI. 委員会報告

1. 学会賞選考委員会

令和 6 年度第 1 回学会賞優秀発表賞選考委員会・第 1 回学会賞選考委員会

日時：令和 6 年 4 月 21 日（日）10:30-11:00

場所：学術総合センター会議室 202・203 号室
及び オンライン（Zoom）

出席者（敬称略）：徳永、浅見、内田、櫻井、氷鮑、藤岡、松本（以上現地出席）、水野谷、朝日、渋澤、多和田、三友（以上オンライン出席）の各委員（但し、吉田委員より委任状付託：以上理事 13 名出席）：オブザーバーとして岩見、小川、黛（以上現地出席）、野崎（乃）（オンライン出席）の各幹事、内村秘書（オンライン出席）

議題

1. 令和 5 年度第 60 回年次大会学会賞最優秀発表賞選考の件

選考委員による評価にもとづき審議を行い、玉井和輝氏（東京理科大学）に最優秀発表賞を授賞することが決定された。

2. 令和 6 年度第 33 回学会賞の選考方針

審議の結果、以下の通り各賞の授賞が決定された。

功績賞：該当なし

論文賞：

橋本浩幸（兵庫県立大学）・内藤徹（同志社大学）
“Does an urban childcare policy improve the nurturing environment in a city?”
Asia-Pacific Journal of Regional Science, Vol. 8, Issue 1 (September 2023), pp. 85-109.

奨励賞：該当なし

著作賞：

白素香（湖州学院・東北農業大学）
『中国食糧補助金制度の効果と評価—農業経営及び農家経済への影響に着目して』（晃洋書房、2022 年）
辻本勝久（和歌山大学）
『SDGs 時代の地方都市圏の交通まちづくり』（学芸出版社、2023 年）

学位論文賞：

博士論文賞は 2 件の推薦があった旨報告があり、レフェリー各 3 名を決定した。

3. 令和6年度学会賞授与式について

第61回年次大会における総会（令和6年10月、東北学院大学）にて開催予定である旨報告があった。

4. その他

氷鉋企画担当理事より、学会賞論文賞の授賞および表彰要件に関する規程の制定の提案があり、協議の結果、理事会に発議することが決定された。

令和6年度第2回学会賞選考委員会

日時：令和6年7月7日（日） 10:30-11:00

場所：学術総合センター会議室 202・203号室

及び オンライン（Zoom）

出席者：徳永、浅見、朝日、内田、櫻井、渋澤、多和田、氷鉋、藤岡、松本、水野谷、吉田の各委員（三友、藪田委員より委任状付託：以上理事14名出席）：オブザーバーとして黛、小川、崔の各幹事および内村事務局秘書

議題

1. 令和6年度第33回学会賞選考の件

審議の結果、以下の通り各賞の授賞が決定された。

功績賞：

萩原清子（東京都立大学名誉教授）

藤岡明房（立正大学名誉教授）

論文賞（大石泰彦賞）：前述

著作賞：前述

学位論文賞

博士論文賞：

岡澤由季（株式会社三菱総合研究所）

「太陽光発電の立地傾向とその要因—国土・地域・地区スケールにおける分析—」

長宗武司（新見公立大学）

「経済基盤モデルの空間的展開と自己組織化シミュレーション」

修士論文賞：該当なし

R5 最優秀発表賞（第16回）：

玉井和輝（東京理科大学創域理工学部経営システム工学科）

『日本の農業従事者の潜在的レジリエンス評価』

2. 学会賞メダルの取り扱いについて

今後の事務委託に伴う経費削減に関連し、今後の学会賞受賞者へのメダル授与の取り扱いについて議論された。今年度のメダル授与対象となる受賞者に対しては全て真鍮製のメダルを授与することとし、来年度以降については検討を継続することとなった。

3. 令和6年度学会賞授与式について

第61回年次大会における総会（令和6年10月、東北学院大学）にて開催予定である旨報告があった。

4. その他

なし

2. 機関紙編集委員会

第79回 機関誌編集委員会

日時：令和5年4月15日（土）11:00-11:30

場所：学術総合センター会議室 202・203号室

及び オンライン（Zoom）

出席者（敬称略）：浅見、徳永、松本、氷鉋、野崎（謙）、鐘ヶ江、櫻井、柳原、篠崎（以上、現地出席）、水野谷、木南（莉）、高橋、多和田、朝日、渋澤、鈴木、廣野、三友（以上、オンライン出席）、オブザーバーとして、河野名誉理事、内田事務局次長、小川、黛、岩見（以上、現地出席）、野崎（乃）、崔（以上、オンライン出席）の各幹事、内村秘書（オンライン）

審議事項

1. 『地域学研究』第54巻掲載候補論文の選考

浅見委員長より、『地域学研究』第54巻掲載候補論文について説明がなされた。

2. 同上機関誌印刷方針

浅見委員長より、今後の採択状況を鑑みつつ、今後発行の後ろ倒しや第1号と第2号の合併号として発行することも検討することが提案され、これを諒承。

また、論文査読結果の提出期限を短縮することも検討された。

報告事項

1. Asia-Pacific Journal of Regional Science (APJRS)について

氷鮑委員より、編集状況とオープンアクセス費用に関する説明があった。

第 80 回 機関紙編集委員会

日時：令和 6 年 7 月 7 日(日)11:00-12:00

場所：学術総合センター会議室 202・203 号室
及び オンライン (Zoom)

出席者(敬称略)：浅見，木南(章)，洪澤，多和田，松本，氷鮑，石橋，木南(莉)，徳永，野崎(謙)，水野谷，柳原，櫻井，鈴木，廣野，吉田の各委員，(ただし，鐘ヶ江，福井，三友の各委員より委任状付託；以上委員 19 名出席)；オブザーバーとして，藤岡名誉理事，朝日理事，内田理事・事務局次長，小川，古澤，崔，黛の各幹事，内村秘書

審議事項

1. 『地域学研究』第 53 巻掲載候補論文の選考
2. 同上機関誌印刷方針

浅見委員長より、現時点での『地域学研究』第 54 巻掲載決定論文について説明なされた。合併号出版の検討もなされたが、書評掲載に値する著書が多数あるため、掲載決定論文と書評の掲載により 1 号を 2 号を個別に発行することとなった。

3. その他
なし

報告事項

1. Asia-Pacific Journal of Regional Science (APJRS)について

氷鮑企画担当理事兼 APJRS Editor in Chief より、IF が 1.9 まで上昇した旨、CiteScore が 3.1 となった旨、Q2 ジャーナルとなった旨の報告があった。

2. その他
なし

第 61 回年次大会準備委員会からのお知らせ

会 場 案 内

東北学院大学土樋キャンパス（ホーイ記念館）



会場 土樋キャンパス

〒980-8511 仙台市青葉区土樋一丁目 3-1

JR「仙台駅」から徒歩約 20 分

JR「あおば通駅」から徒歩約 23 分（仙石線）

※地下鉄南北線「仙台駅」乗り換えも可能

地下鉄南北線「五橋駅（東北学院大学前）」南 1 出口または「愛宕橋駅」から徒歩約 5 分

バス停「五橋駅」から徒歩約 5 分

会場配置図



『地域学研究』バックナンバー/ 定期購読申込書

宛先: 〒305-8572 つくば市天王台 1-1-1 筑波大学生命環境系水野谷研究室内 Tel, Fax: +81-29-853-7221
 日本地域学会事務局 御中

☐ 日本地域学会機関誌の定期購読を申込ます (8,000 円 / 年)。(PRINT ISSN: 0287-6256)

☐ 下記のとおり、日本地域学会機関誌のバックナンバーを申し込みます。

令和 年 月 日

氏名:

印

所属:

住所:

Tel, Fax:

E-mail:

記念事業セット販売					
フルセット:『地域学会年報(1-6号)』+『地域学研究(第1-53巻)』				613,600円	
セミセット:『地域学研究(第1-53巻)』				583,600円	
				小計	円
『地域学会年報』(第1-6号)					
1号 10,300円		2号 10,300円		3号 10,300円	
4号 10,300円		5号 10,300円		6号 10,300円	
『地域学研究』(第1-19巻)					
第1巻 8,000円		第2巻 8,000円		第3巻 8,000円	
第4巻 8,000円		第5巻 8,000円		第6巻 8,000円	
第7巻 8,000円		第8巻 8,000円		第9巻 8,000円	
第10巻 8,000円		第11巻 10,000円		第12巻 10,000円	
第13巻 8,000円		第14巻 8,000円		第15巻 10,000円	
第16巻 8,000円		第17巻 10,000円		第18巻 10,000円	
第19巻 9,400円					
『地域学研究』(第20-28巻) no.1,no.2					
第20巻no.1 9,000円		第20巻no.2 3,500円		第21巻no.1 10,000円	
第21巻no.2 3,500円		第22巻no.1 10,000円		第22巻no.2 3,500円	
第23巻no.1 10,000円		第23巻no.2 3,500円		第24巻no.1 10,000円	
第24巻no.2 3,500円		第25巻no.1 10,000円		第25巻no.2 3,500円	
第26巻no.1 10,000円		第26巻no.2 3,500円		第27巻no.1 10,000円	
第27巻no.2 3,500円		第28巻no.1 10,000円		第28巻no.2 3,500円	
『地域学研究』(第29巻-34巻) no.1,no.2,no.3					
第29巻no.1 7,000円		第29巻no.2 3,500円		第29巻no.3 7,000円	
第30巻no.1 7,000円		第30巻no.2 3,500円		第30巻no.3 7,000円	
第31巻no.1 7,000円		第31巻no.2 3,500円		第31巻no.3 7,000円	
第32巻no.1 7,000円		第32巻no.2 3,500円		第32巻no.3 7,000円	
第33巻no.1 7,000円		第33巻no.2 3,500円		第33巻no.3 7,000円	
第34巻no.1 7,000円		第34巻no.2 3,500円		第34巻no.3 7,000円	
『地域学研究』(第35巻-) 1巻4号一括販売 16,000円; 8,000円/号					
第35巻no.1		第35巻no.2		第35巻no.3	
第36巻no.1		第36巻no.2		第36巻no.3	
第37巻no.1		第37巻no.2		第37巻no.3	
第38巻no.1		第38巻no.2		第38巻no.3	
第39巻no.1		第39巻no.2		第39巻no.3	
第40巻no.1		第40巻no.2		第40巻no.3	
第41巻no.1		第41巻no.2		第41巻no.3	
第42巻no.1		第42巻no.2		第42巻no.3	
第43巻no.1		第43巻no.2		第43巻no.3	
第44巻no.1		第44巻no.2		第44巻no.3	
第45巻no.1		第45巻no.2		第45巻no.3	
第46巻no.1		第46巻no.2		第46巻no.3	
『地域学研究』(第47巻-)1巻2号一括販売 8,000円; 6,000円/号					
第47巻no.1		第47巻no.2		第48巻no.1	
第49巻no.1		第49巻no.2		第50巻no.1	
第51巻no.1		第51巻no.2		第52巻no.1	
第53巻no.1		第53巻no.2			

※第48巻以降セット販売の場合、第47巻までのセット価格+第48巻以降1巻当り30%割引価格となります

購入総額合計 _____ 円

※ 申込該当箇所に○を、□にはチェックをして下さい。

機関購入の場合は、氏名、所属欄に見積り、納品、請求書宛名機関名等を記入、責任者押印をお願い致します。

令和元年 12 月 15 日改定